

エアラインの戦略と 神戸空港の活用

2014年11月5日

全日本空輸株式会社

上席執行役員マーケティング室長

稲田 健也

1. ANAグループの事業概要

2. 航空業界を取り巻く環境

3. ANAグループの戦略

4. 関西3空港の状況と神戸空港の活用

✈ 2013年4月より持株会社制へ

■ 連結対象

： 連結子会社62社

持分法適用会社18社

計70社

■ 資本金

： 3,187億円

■ 総従業員数

： 33,467人

ANAホールディングス

航空運送事業

フルサービスキャリア 全日本空輸 ANAウイングス エアージャパン ANA

LCC バニラ・エア Vanilla Air

航空関連子会社

持分法適用関連会社

LCC Peach Aviation peach

旅行事業

ANAセールス 等

商社事業

全日空商事 等

不動産・保険事業

ANAファシリティーズ 等

ビル管理事業

ANAスカイビルサービス 等

人材関連事業

ANAビジネスソリューション 等

ケータリング事業

ANAケータリング 等

その他の事業

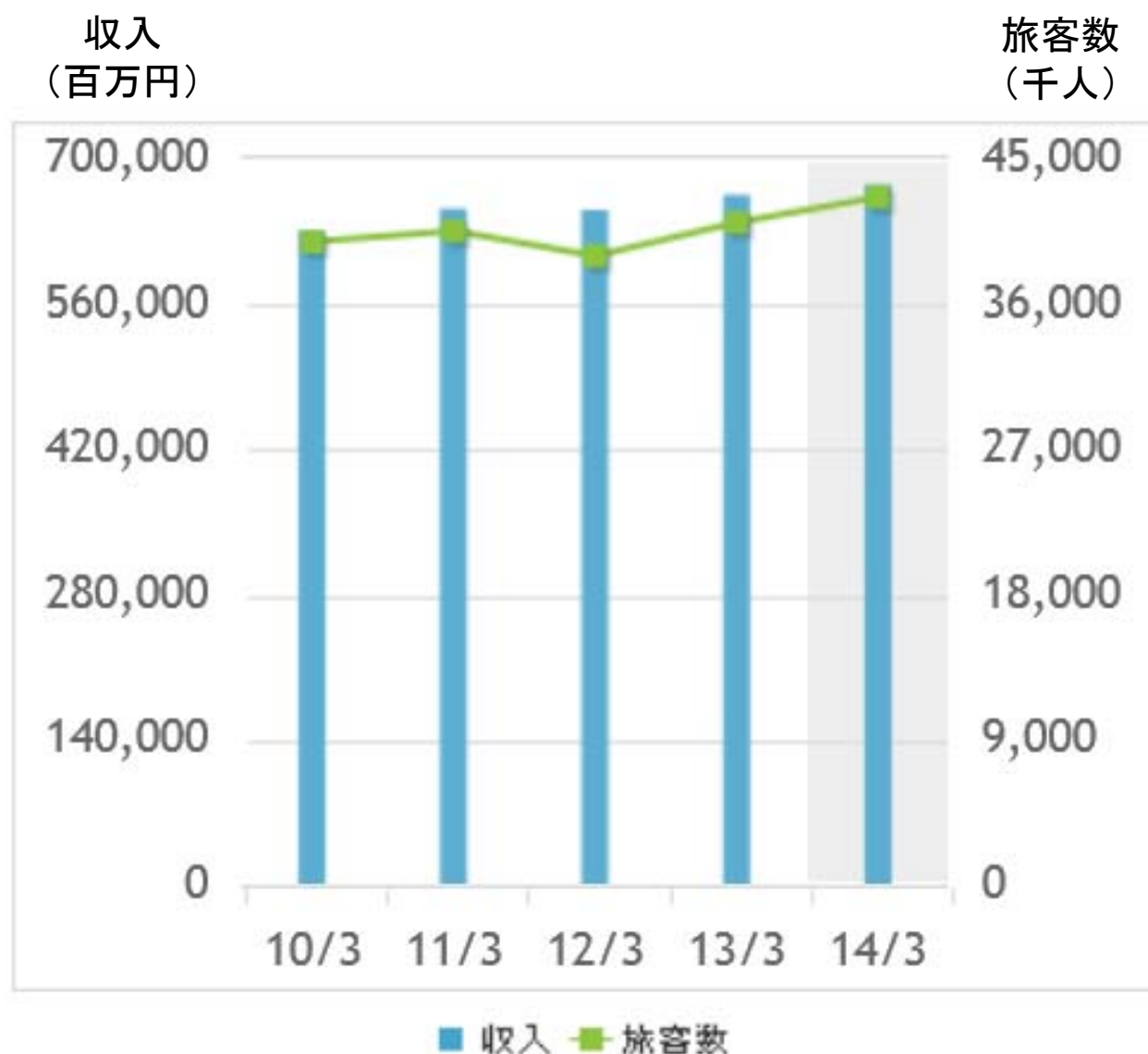
ANAシステムズ、インフィニ トラベルインフォメーション 等

1. ANAグループの事業概要(輸送実績)

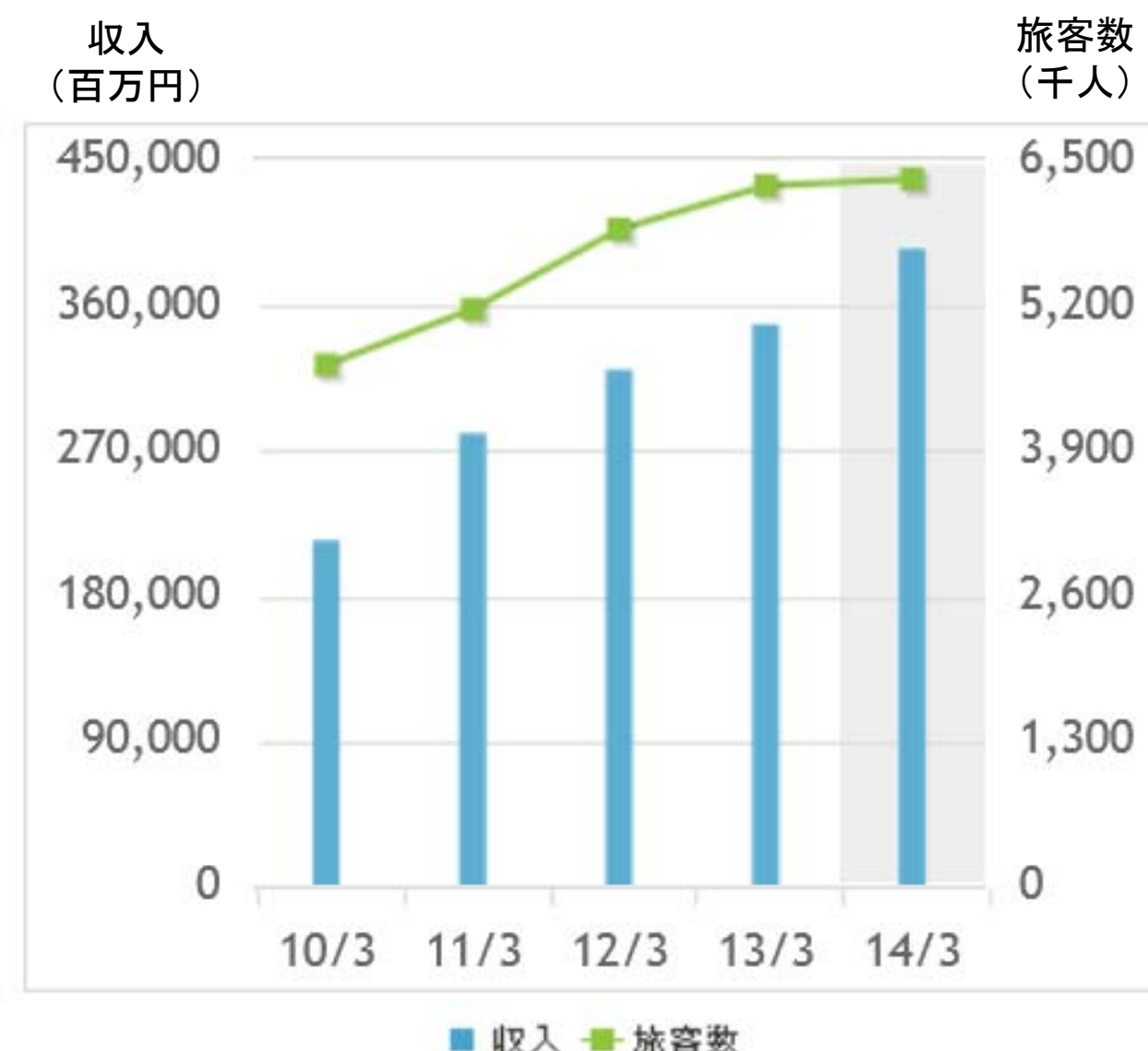
✈ 旅客輸送 国内線はほぼ横ばい、国際線はネットワーク拡大と共に増加

■ 2014年度輸送実績 : 旅客数 49,004千人 (国内線42,668千人、国際線6,336千人)

【国内線】



【国際線】



1. ANAグループの事業概要(機材数)

- ✈ 機材数は現行229機
- ✈ 中長期成長原資・更新機材の安定的な確保を目的とし、5機種70機の機材を発注

■ 機材数 : 229機(自社保有177機、リース52機)

B777シリーズ 54機



B787 27機



B767シリーズ 56機



B737シリーズ 52機



A320 19機



Q400 21機

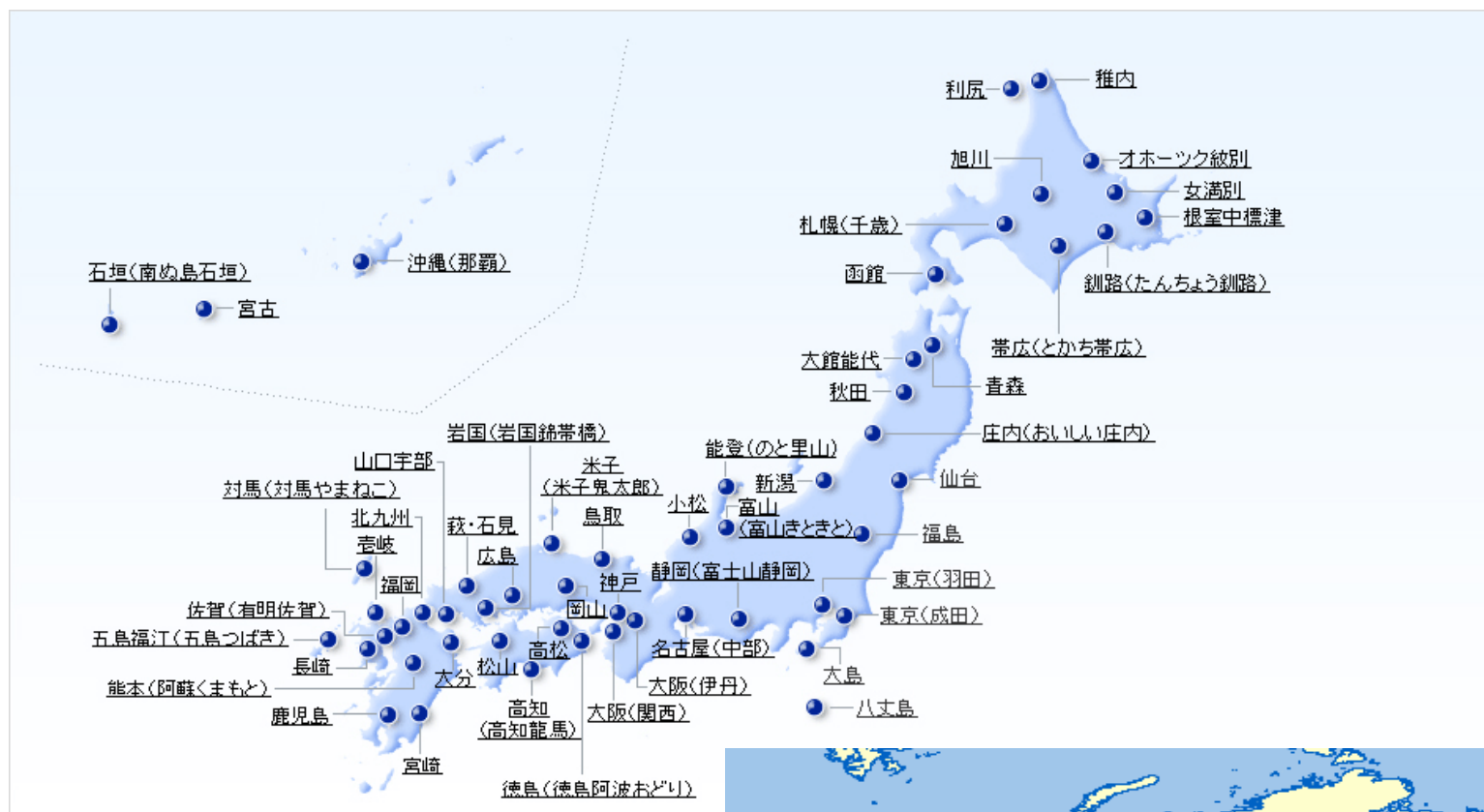


2014年4月現在

■ 機材発注 : B777-9X 20機、B777-300ER 6機、B787-9 14機
A320neo 7機、A321neo 23機

1. ANAグループの事業概要(路線ネットワーク)

✈ 国内線は133路線、国際線は54路線に就航



【国内線】
51空港 133路線

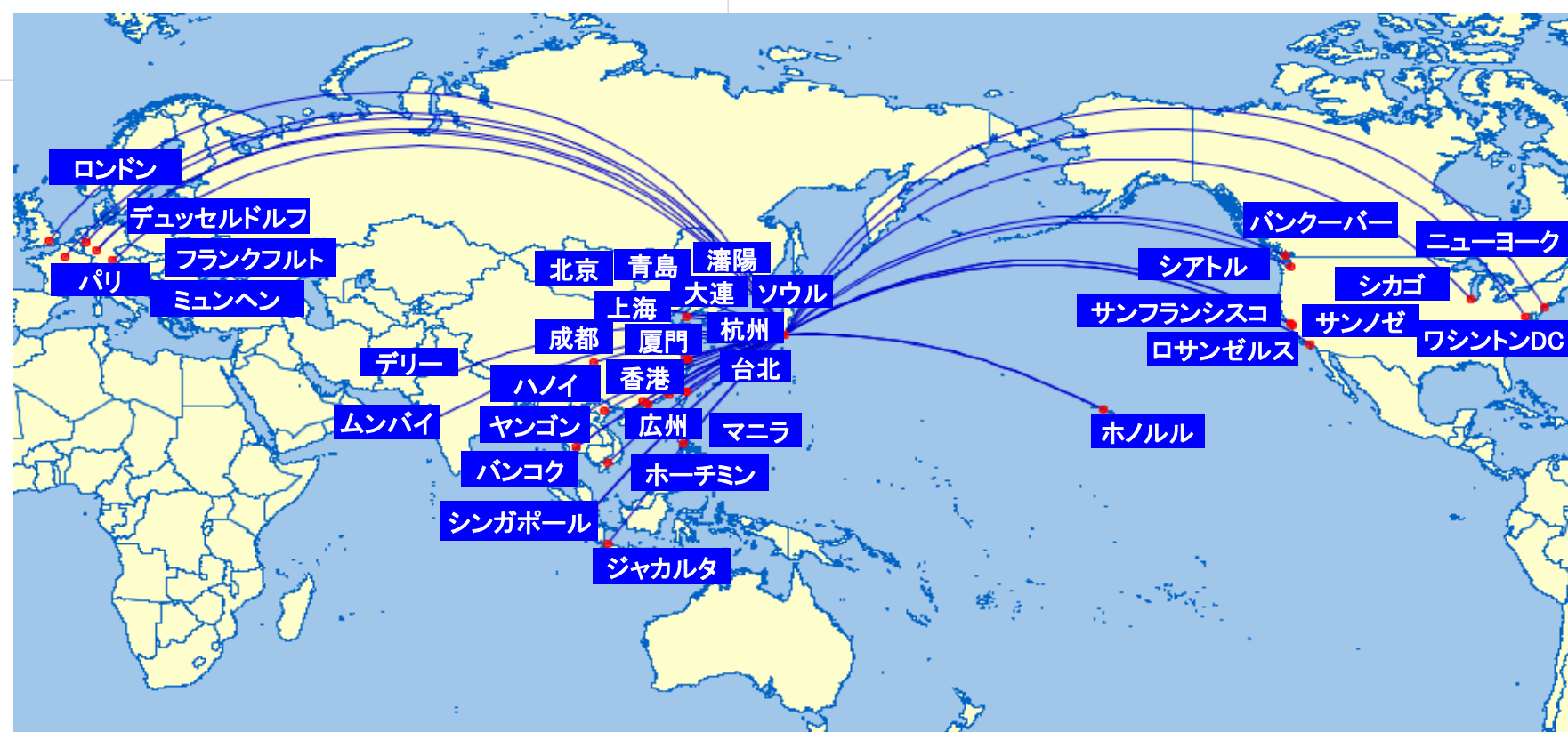
【国際線】

➤ 首都圏(羽田・成田)発着

: 35都市46路線

➤ 関西発着 : 6都市6路線

➤ 中部発着 : 2都市2路線



1. ANAグループの事業概要
2. 航空業界を取り巻く環境
3. ANAグループの戦略
4. 関西3空港の状況と神戸空港の活用

2. 航空業界を取り巻く環境(人口減少)

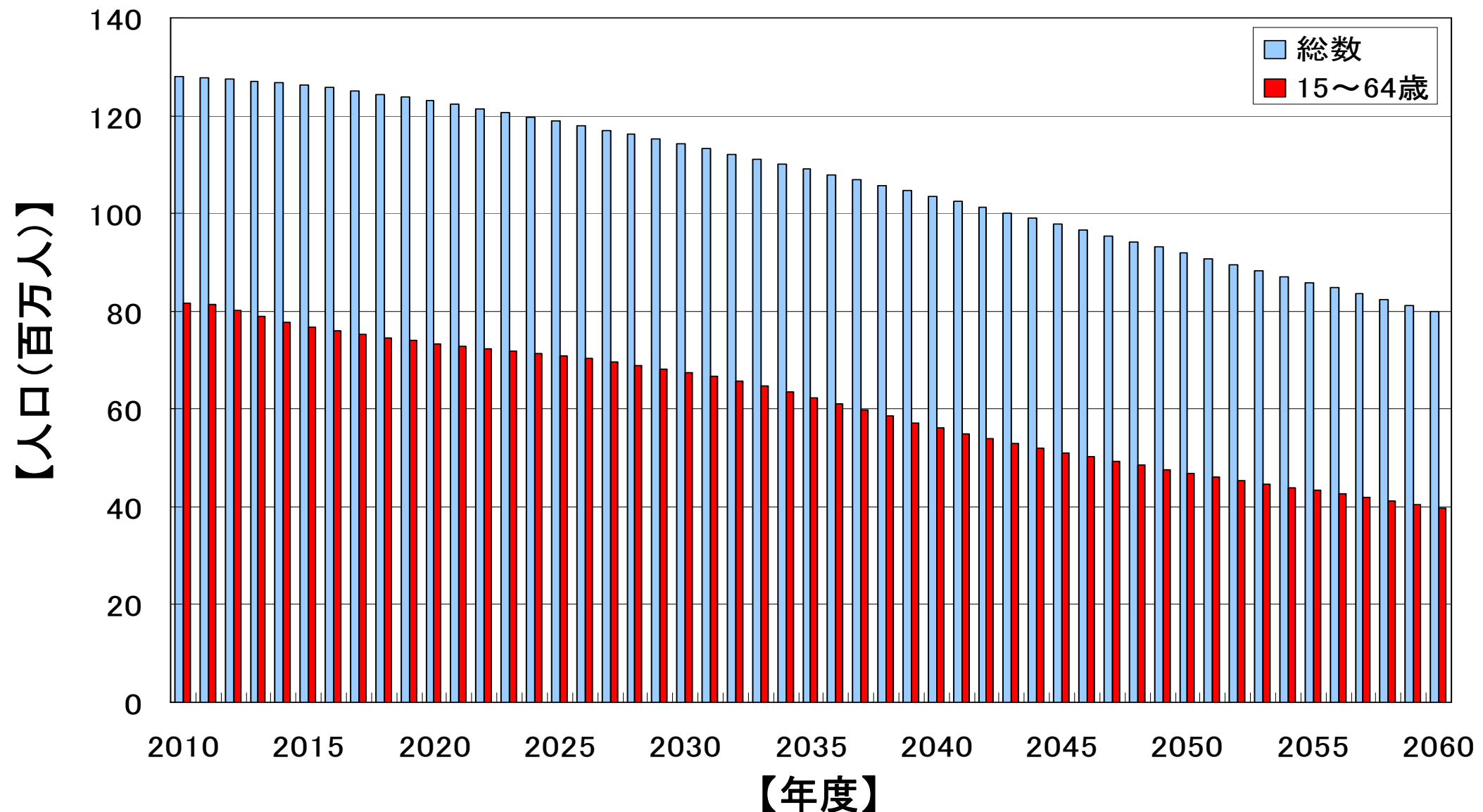
✈ 日本の人口は徐々に減少、特に生産年齢人口の減少は著しい

【日本の人口総数】

2014年:1億2718万人
2020年:1億2299万人(2014年比▲3%)
2030年:1億1416万人(// ▲10%)
2040年:1億356万人(// ▲19%)

【15~64歳年齢層】

2014年:7856万人
2020年:7340万人(2014年比▲7%)
2030年:6733万人(// ▲14%)
2040年:5607万人(// ▲29%)



(国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」より作成)

2. 航空業界を取り巻く環境(高速鉄道の発達)

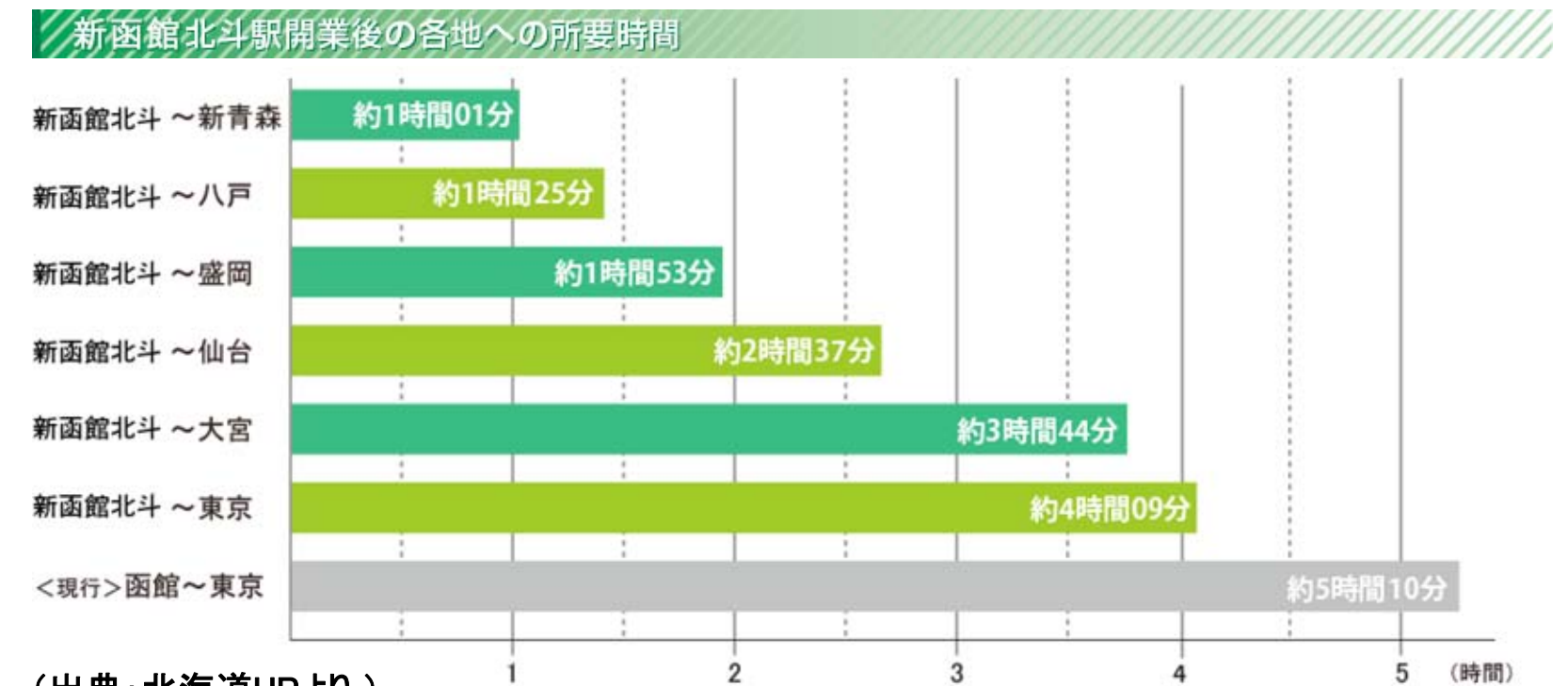
✈ 2015年春北陸新幹線開業、2016年春北海道新幹線開業

【北陸新幹線】



(出典:石川県HPより)

【北海道新幹線】



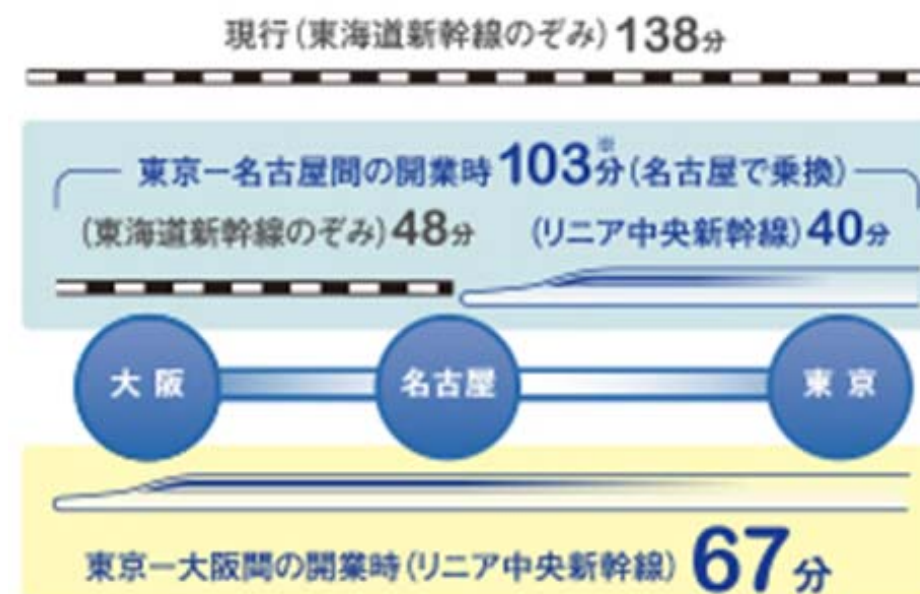
(出典:北海道HPより)

2. 航空業界を取り巻く環境(高速鉄道の発達)

✈ 超電動リニアによる中央新幹線

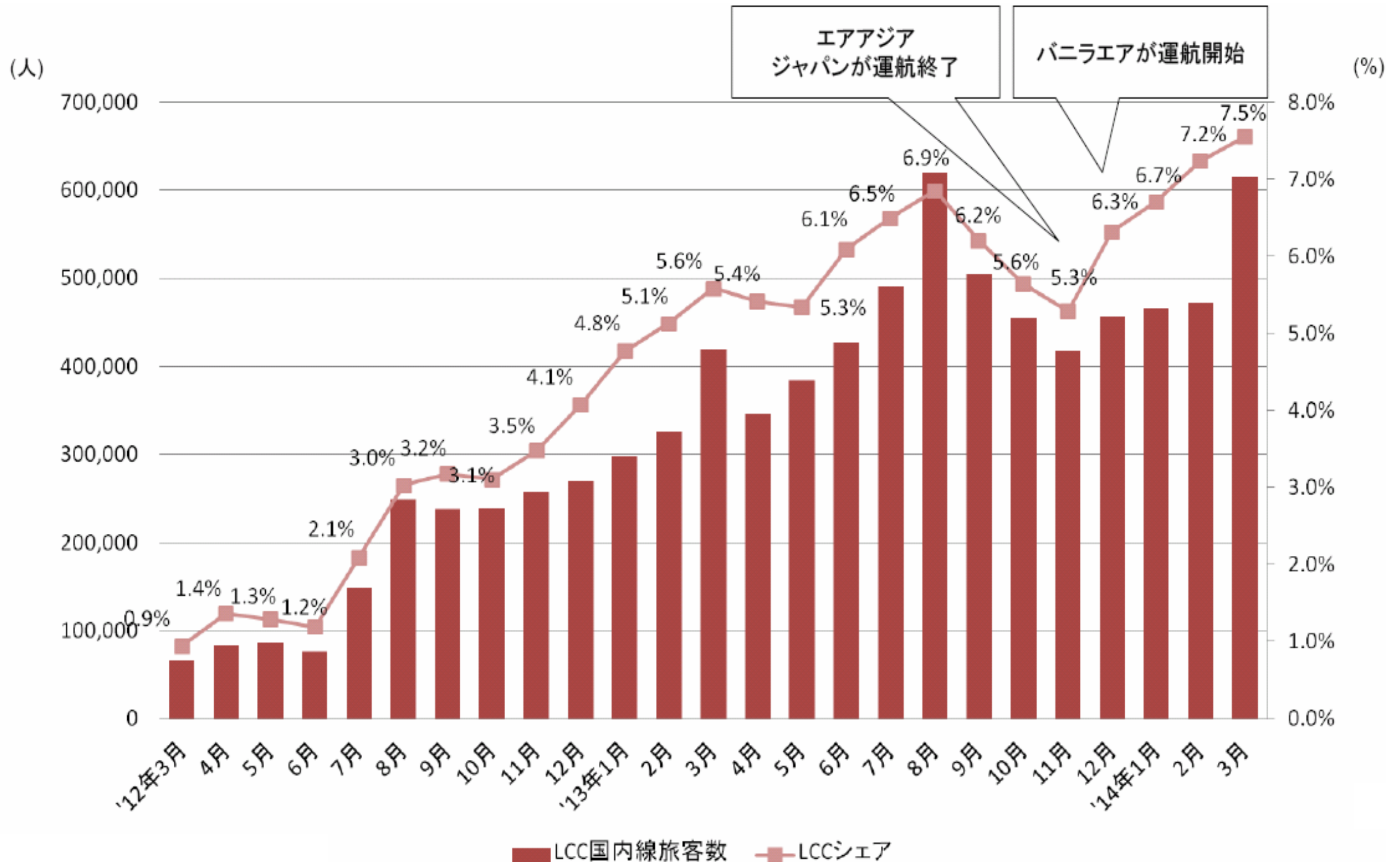
—東京～名古屋(40分) 2027年開業、 東京～大阪 (67分) 2045年開業

【ルート概念図】



2. 航空業界を取り巻く環境(LCCのネットワーク拡大)

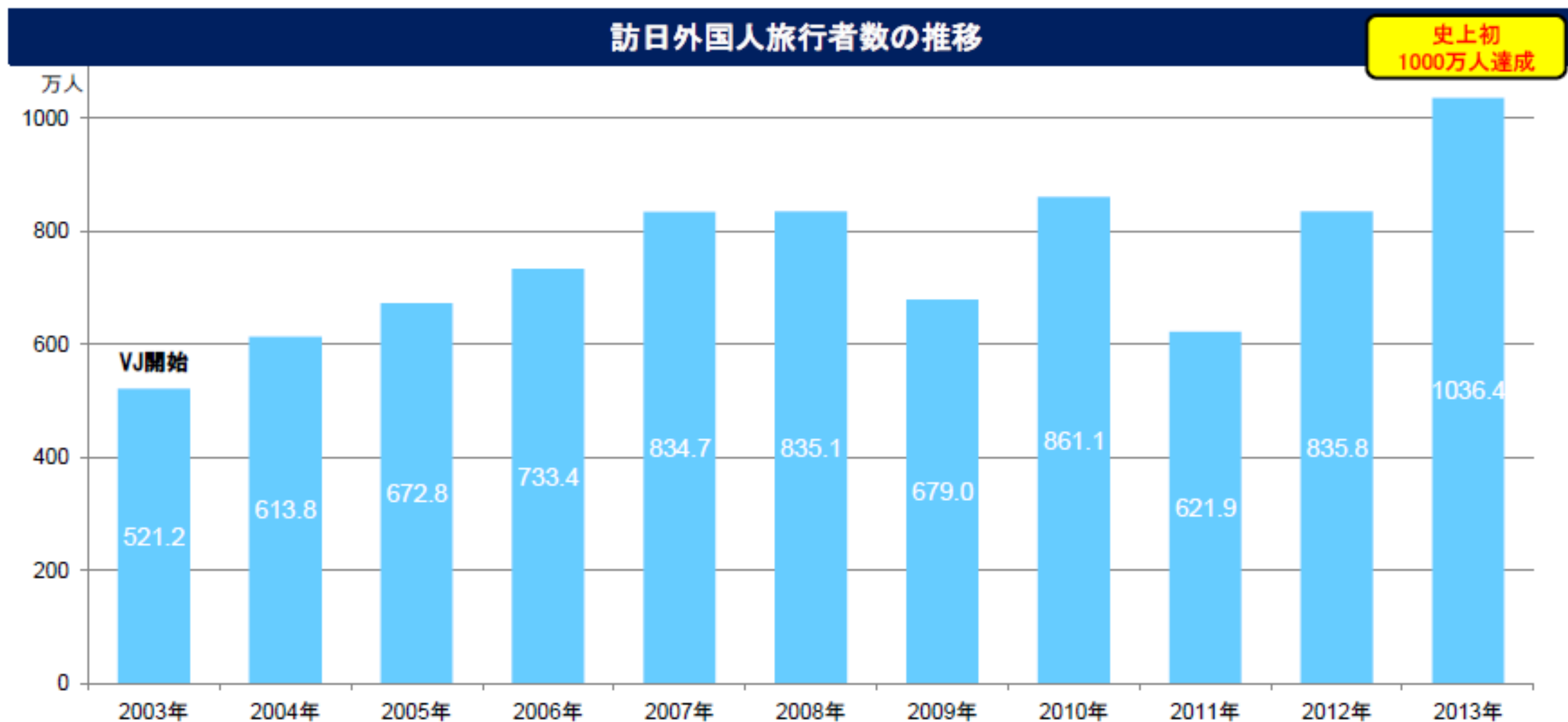
✈ 日本国内線にLCC4社が参入、ネットワーク拡充に伴い旅客シェアも拡大



(出典: 第15回交通政策審議会航空分科会基本政策部会 配布資料)

2. 航空業界を取り巻く環境(訪日旅客の増加)

✈ 訪日外国人 2013年は史上初の1,000万人突破、2,000万人へ

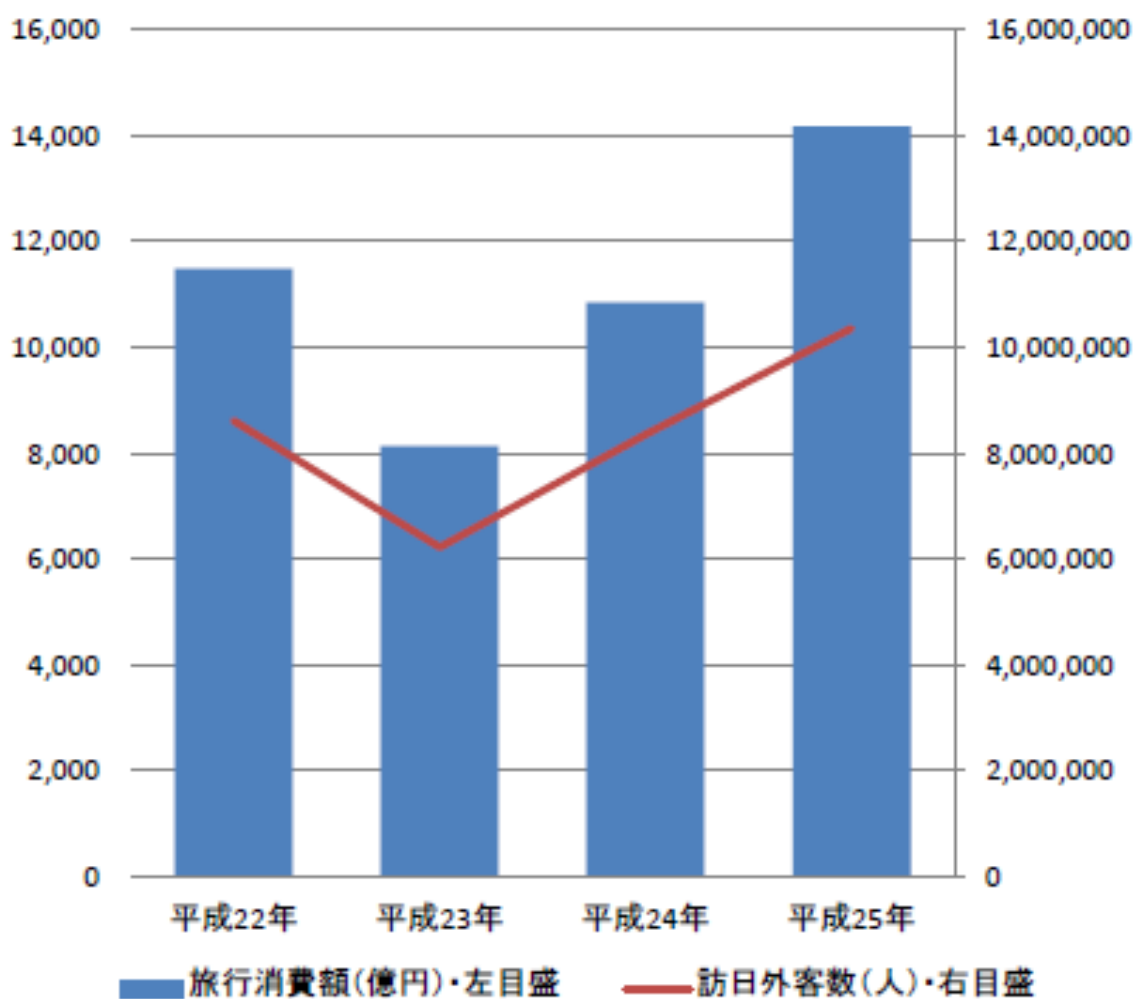


(出典: 日本政府観光局(JNTO)・観光庁)

2. 航空業界を取り巻く環境（訪日旅客の増加）

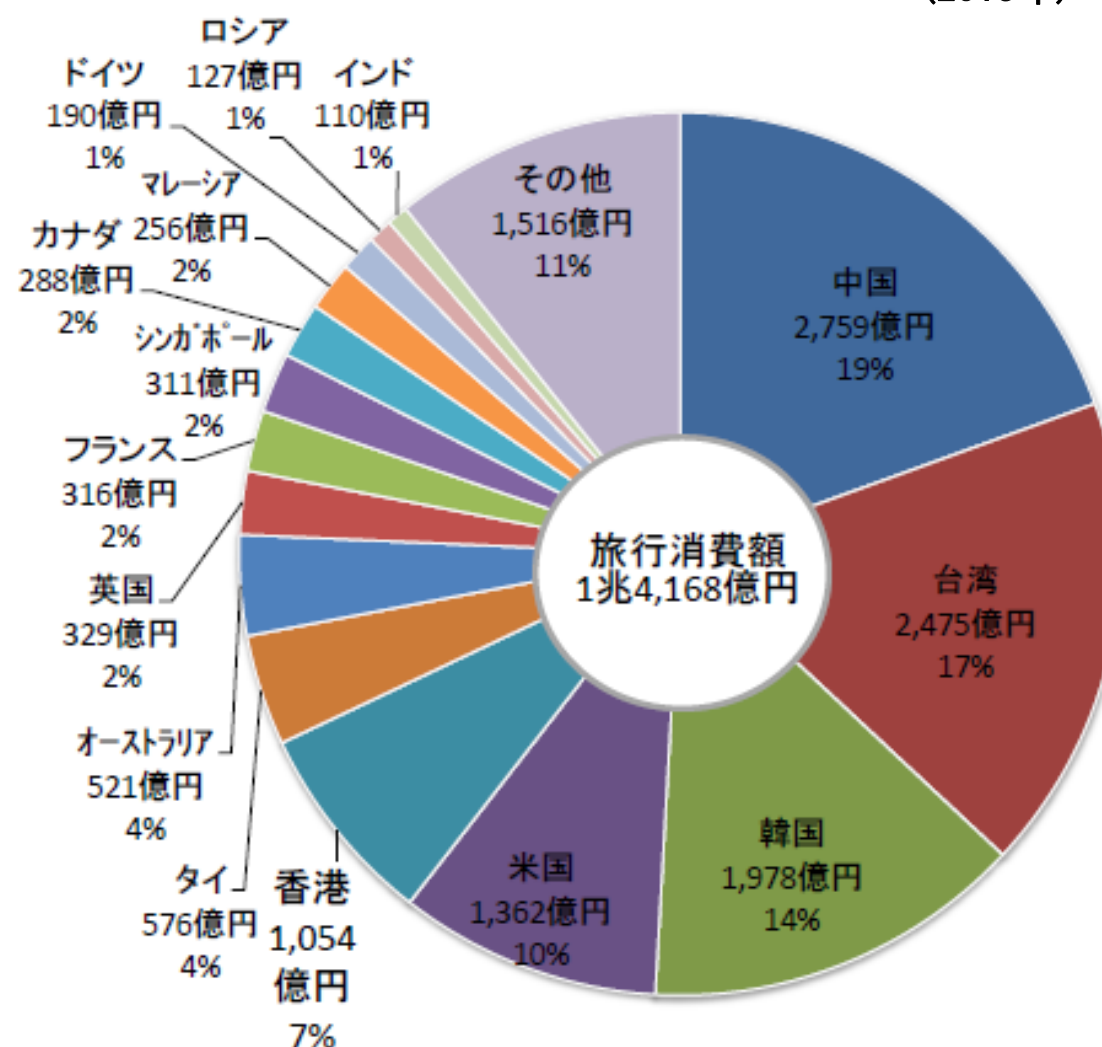
- ✈ 2013年の訪日外国人の旅行消費額は1兆4,168億円と過去最高
- ✈ 中国・台湾・韓国をはじめとして、アジア各国の消費額が大きい

【旅行消費額と訪日外国人旅客数の推移】



【旅行消費額と国別・地域別構成比】

(2013年)

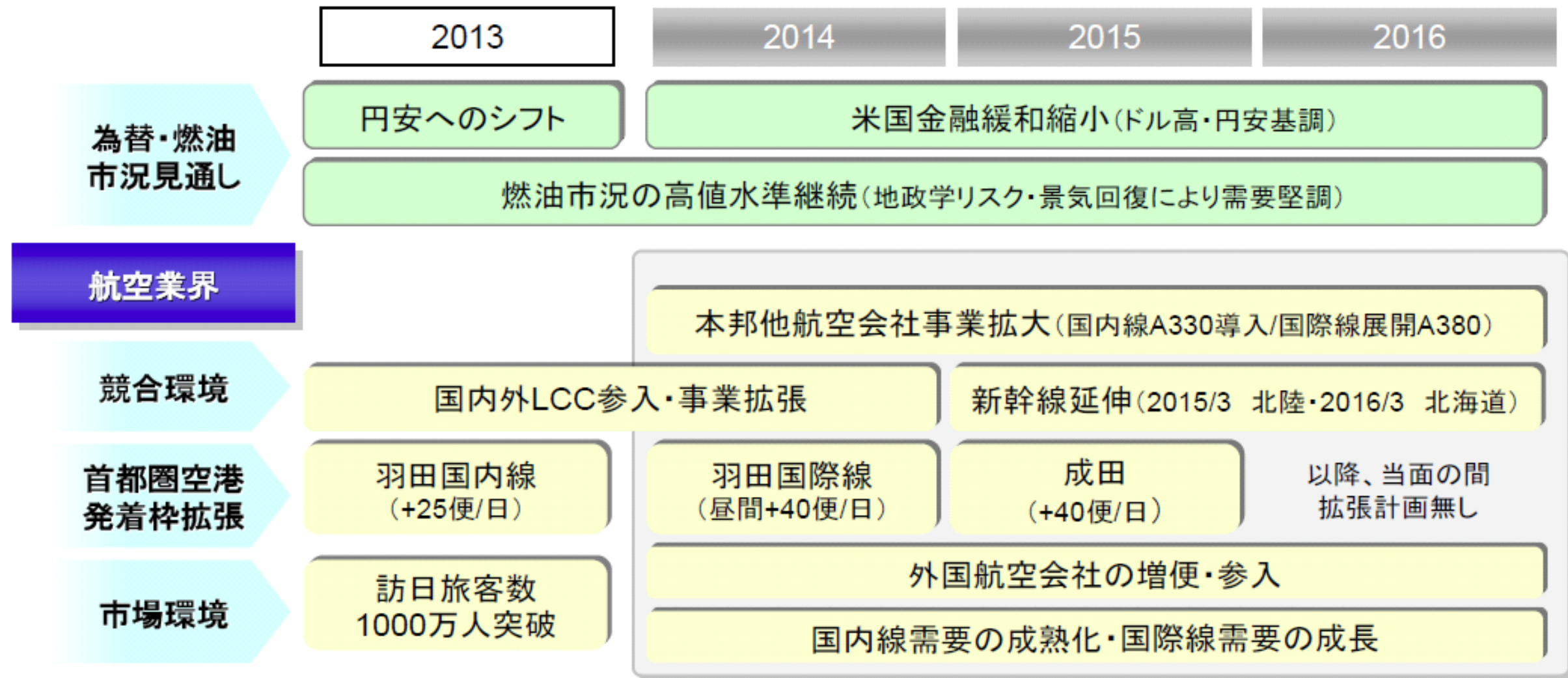


(出典: 日本政府観光局(JNTO)・観光庁)

1. ANAグループの事業概要
2. 航空業界を取り巻く環境
3. ANAグループの戦略
4. 関西3空港の状況と神戸空港の活用

3. ANAグループの戦略(中期経営戦略)

✈ 変化する市場・競合環境に適応し、2014~2016年度の中長期戦略を推進



中期戦略の位置付け

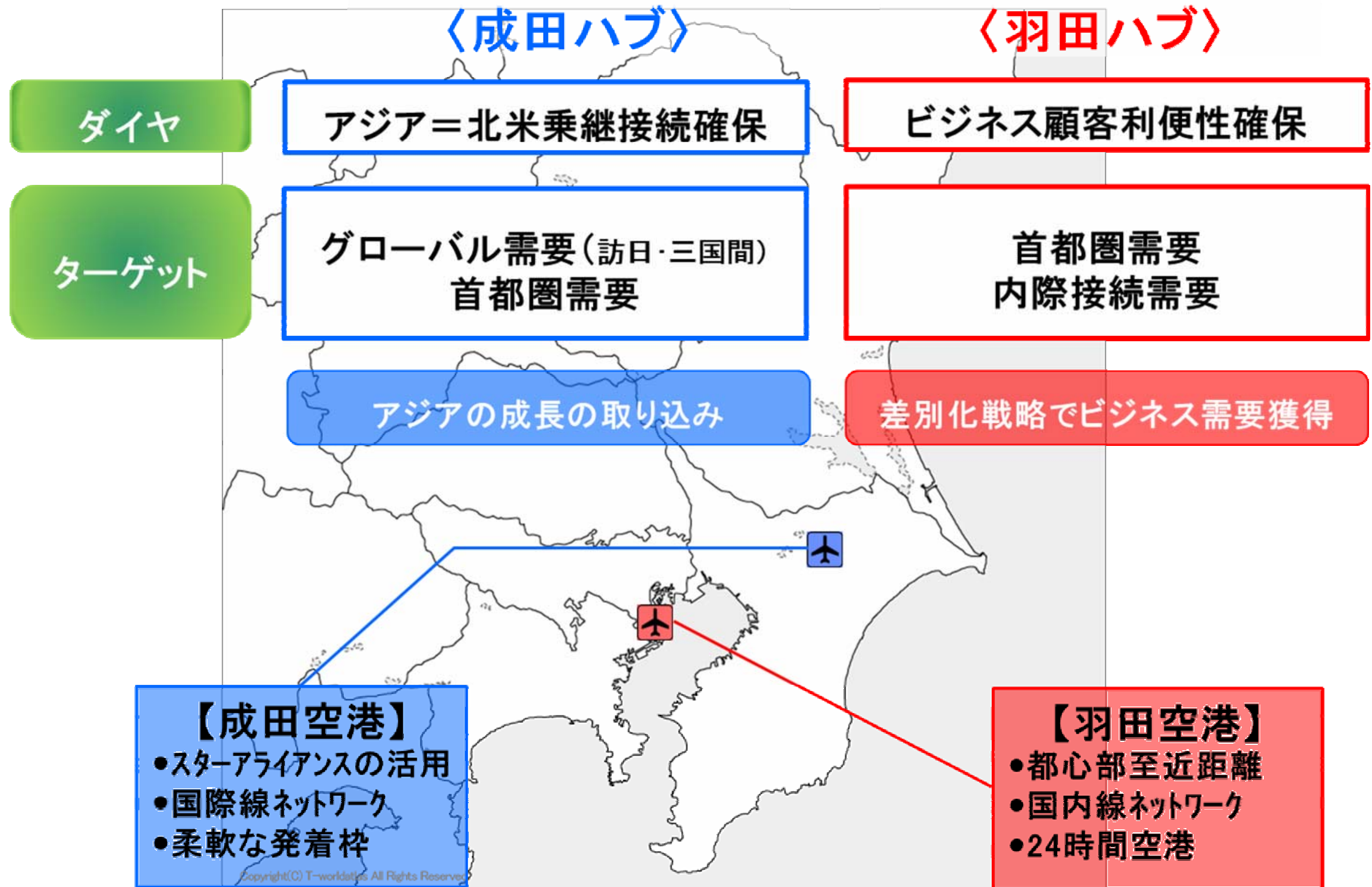
【持株会社体制下での事業ポートフォリオ戦略の深化】

<p>【コア事業の強化】 収益基盤であるFSC事業を磨き進化させつつ、フレイター事業の早期黒字化を通じて航空事業を強化</p>	<p>【収益ドメインの拡大・多様化】 「LCC再建」「ノンエア-事業の自律促進」「投資案件の早期回収」を通じてポラティリティ耐性を強化</p>	<p>【コスト構造改革の進化】 徹底した他社比較や事業規模拡大等新たな環境下における効率化促進</p>
<p>【事業構造改革】の検討・着手</p>		

グループ経営体制を支える土台 持株会社体制の深化 人財戦略 CSR戦略

3. ANAグループの戦略(首都圏デュアルハブモデル)

✈ 首都圏空港(羽田・成田)の特性を活かしたデュアルハブモデルを構築



3. ANAグループの戦略(「Tastes of Japan by ANA」)

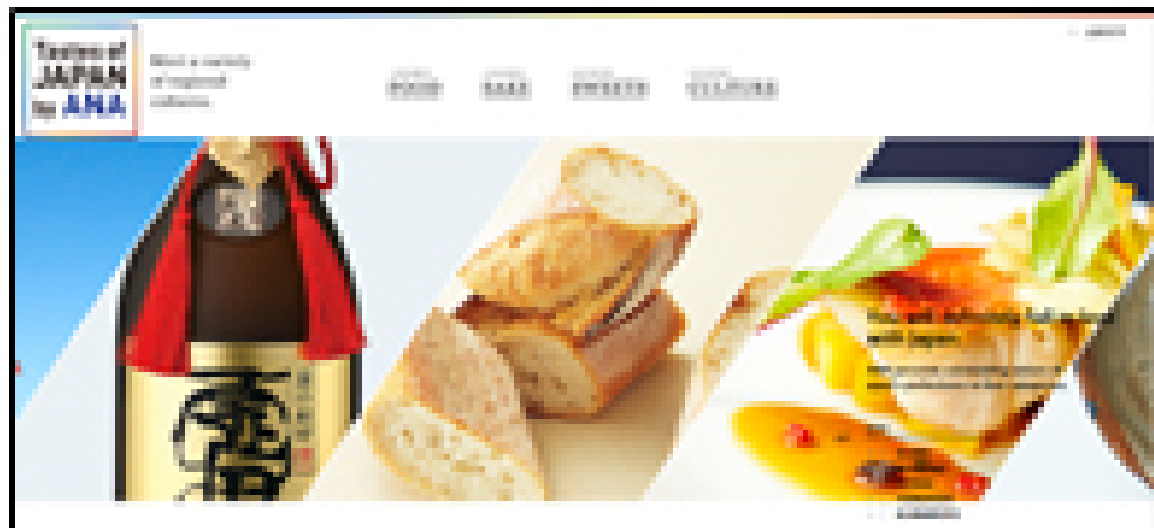
- ✈ 日本各地の魅力を全国・海外へ発信し、訪日誘客・地域活性化に貢献
- ✈ 2013年9月からスタートし、「食」・「酒」・「スイーツ」・「文化」などをテーマに3ヶ月サイクルで3つの都道府県を取り上げ、約4年をかけて日本全国、47都道府県すべてを順に特集



「日本が誇る、日本の価値」に出会う。

ANAは日本と世界の架け橋となるエアラインとして、都道府県とともに「日本が誇る、日本の価値」をお届けします。日本各地のさまざまな魅力に出会える機会を通じて、日本を元気にしていく。「Tastes of JAPAN by ANA」はじまります。

【 観光情報をHPや機内誌で紹介 】



【 特産品を使った食事等を空港ラウンジや機内で提供 】

日本語・英語に加え、2014年6月からは中国語のWEBサイトも立ち上げ

石川県



岡山県



大分県



3. ANAグループの戦略(「Experience Japan Fare」)

- ✈ 訪日旅客を対象に、日本国内線の全区間にお得な割引運賃を新たに設定
- ✈ どの航空会社で訪日しても、全国内路線1区間10,800円でご利用可能



Experience JAPAN Fare
ANA offers travelers to any destination within Japan for only

For travel until Saturday, March 28, 2015

PRICE JPY **10,800**

Reservations must be made at least 3 days prior to the departure date.

Search for flights and book here! >

Eligibility 1 Residence outside Japan.

Eligibility 2 Holding a passport issued by a country other than Japan, or Japanese passport holder with permanent residency outside of Japan.

Eligibility 3 Holding an international ticket to and from Japan.

IS JAPAN COOL?

 You can see New Network Map Site! [Click here](#) 

1. ANAグループの事業概要
2. 航空業界を取り巻く環境
3. ANAグループの戦略
4. 関西3空港の状況と神戸空港の活用

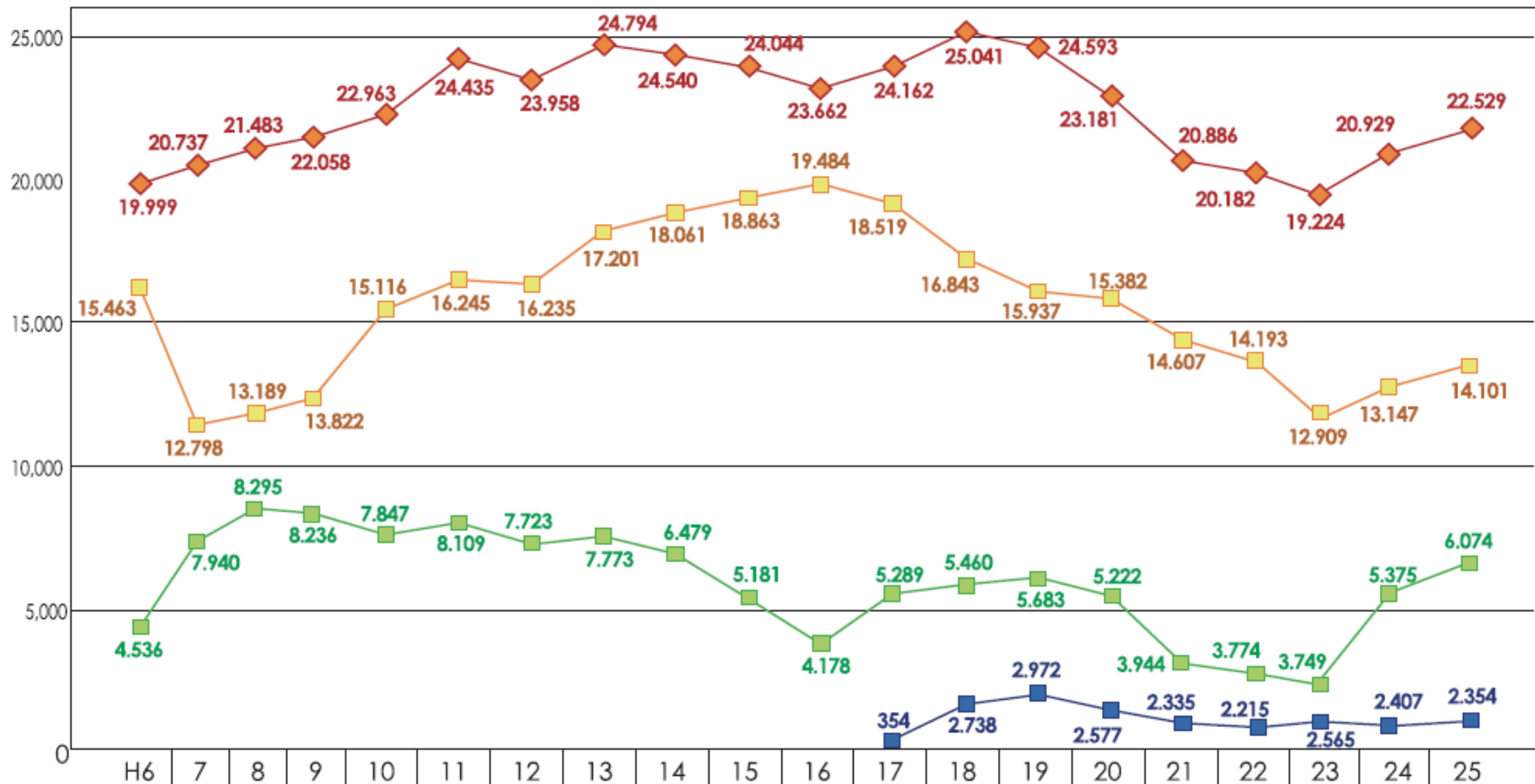
4. 関西3空港の現状と神戸空港の活用

✈️ 関西3空港合計の旅客数は、2012年度以降増加傾向へ

【 関西3空港 国内線旅客数推移 】



(単位:千人)



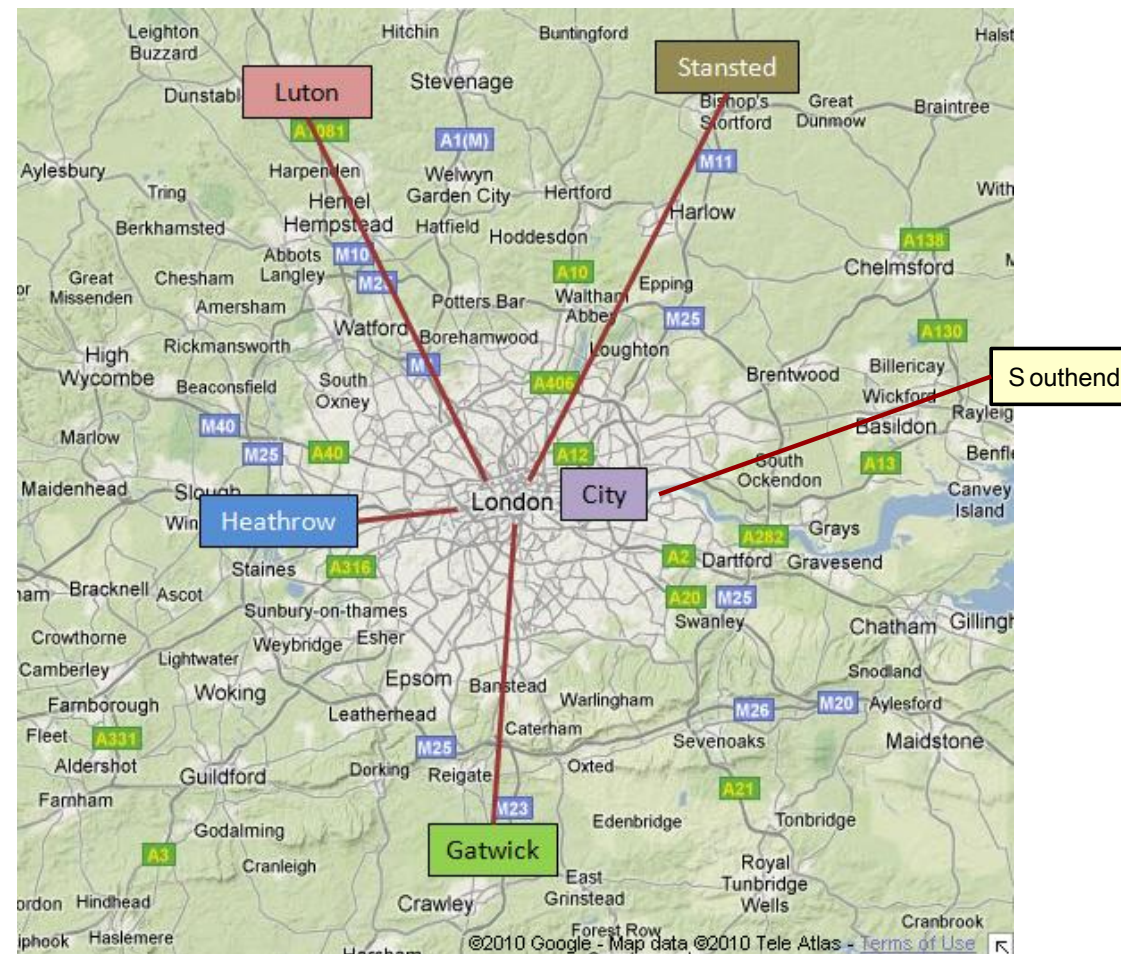
(出典:大阪国際空港及びその周辺地域活性化促進協議会作成資料より)

<参考> ロンドンにおける複数空港の事例

空港	中心地からの距離	主な航空会社	ネットワーク	滑走路	2013年度実績	
					利用旅客数 (千人)	構成比 (%)
ヒースロー	24km	British Airways	欧州域内・外	2本/4,000m級	69,983	51.9
ガトウィック	45km	easyJet	欧州域内・外	1本/3,000m級	34,219	25.4
スタンステッド	48km	Ryanair	欧州域内	1本/3,000m級	17,465	12.9
ルートン	50km	easyJet	欧州域内	1本/2,000m級	9,614	7.1
ロンドンシティ	16km		欧州域内・外	1本/1,500m級	3,017	2.2
サウスエンド	70km	easyJet	欧州域内・外	1本/1,800m級※	617	0.5

※サウスエンド空港：2012年ロンドンオリンピック開催に際し滑走路を延長、LCC航空機が離発着可能となった


(Source: CAA airport statistics)



4. 関西3空港の現状と神戸空港の活用

✈️ 関西3空港 それぞれの特性を最大限活用し 関西圏全体の需要拡大を

【 関西3空港の特性 】

	神戸空港	関西空港	伊丹空港
特徴	旺盛な後背地需要	西日本の国際拠点空港	旺盛な国内線需要
	地域連携	24時間運用	環境に配慮した都市型空港
	国内線	国内線/国際線	国内線
運用時間	7:00~22:00	24時間	7:00~21:00
就航会社 (国内線)	   	    	   

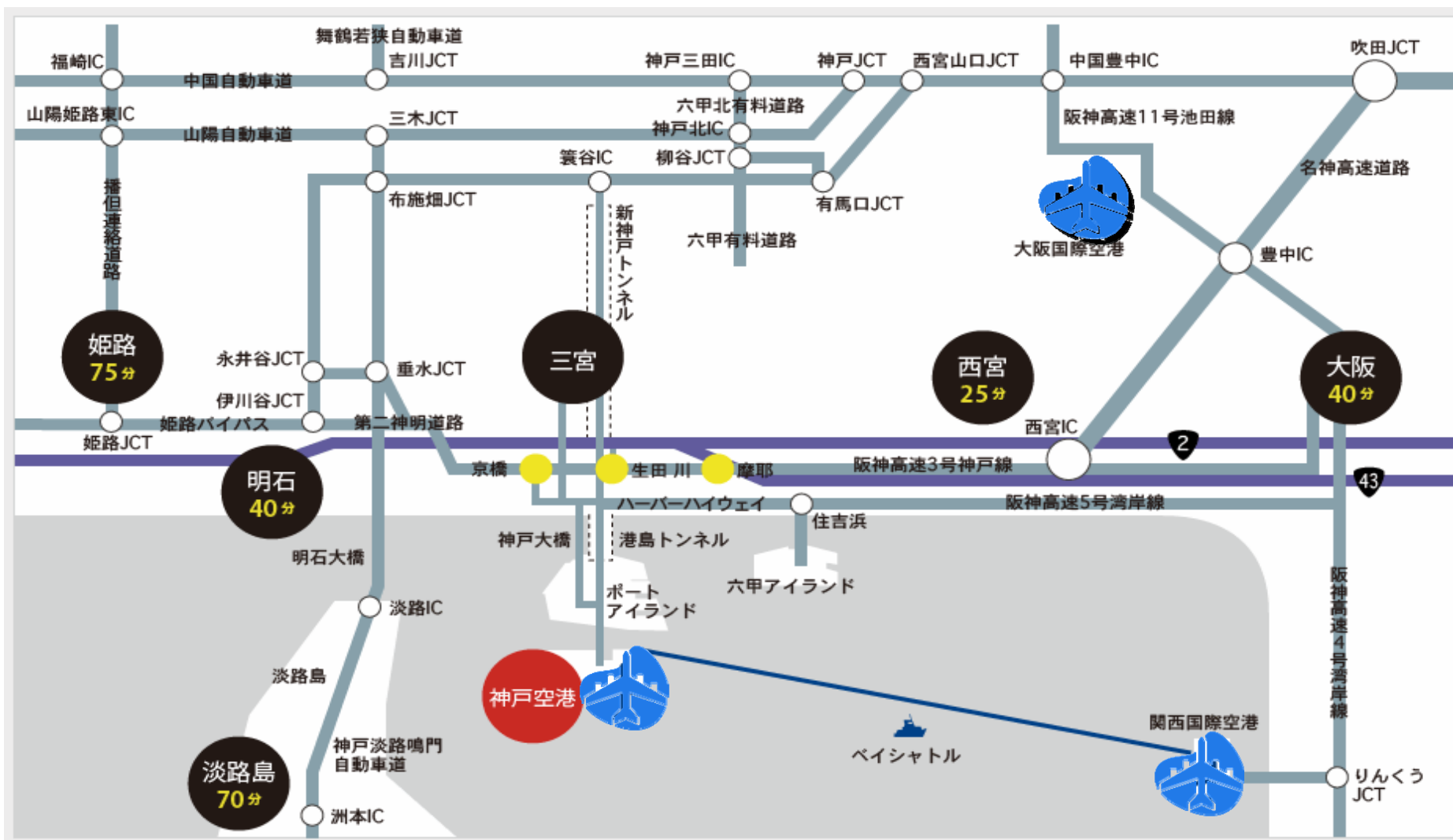
利便性向上による
差別化

LCCネットワーク拡充
による新規需要創出

地理的利便性を活かした
ネットワークの充実



4. 関西3空港の現状と神戸空港の活用

✈ 運用時間拡大が神戸空港の利便性向上に貢献



【 関西方面行最終便 】

(2014年冬ダイヤ航空最終便)

		出発	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	到着
 航空	羽田		19:20	→	20:35				伊丹
				20:15	→	21:30			神戸
						21:30	→	22:45	
 新幹線	品川				21:27	→	23:45		新大阪
					20:57	→	23:38		新神戸

✈ ANAは、おかげさまで4年連続SKYTRAX社のアワードを受賞いたしました



ご清聴ありがとうございました